

6年2組「総合的な学習の時間」学習指導案

6年2組 男子17名 女子13名 計30名
授業者 担任 川尻 年輝

- 1 日時 令和3年5月25日 3校時
2 題材名 「未来につながる今を生きよう！ ～SDGsに根差した総合的な学習の在り方～」
3 主題設定の理由

(1) 価値観（ねらいとする価値について）

昨年度の総合的な学習の時間において、「SDGs 17の目標」の理解を中心に、車のリサイクルポスター作りや、SDGs 169ターゲット日本語版キャッチコピーづくり等に参加しながら理解を深めてきた。本年度は、昨年度の学びをベースとして、SDGsの概念を活かした実践を行っていきたい。その切り口として、SDGsの17全ての目標の実現に寄与するものであるESD（持続可能な開発のための教育：Education for Sustainable Development）の3つの視点を活かして考えさせたい。まずは学級として、何ができるのか、どんなことができるのか考えることを通して、地球規模の課題であるSDGsの達成に向けた地球市民としての感覚を醸成していきたいと考えている。なお、ESDについては、SDGs 4. 7にも取り上げられている。

(2) 児童観（児童の実態）

言われたことや指示に対しては、真っすぐに学びに向かう姿が見られる。一方、正解が見えにくい納得解型の学習や創造的な学習においては自分の考えを出しにくい子どもたちも見られる。複雑な現代において、この題材を扱うことは本学級の児童にとって価値の高い学びであると考えている。

(3) 資料観（題材の価値）

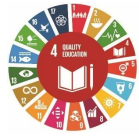
本題材は、現代社会の課題（SDGs）において、分野を超えて影響しあったり、多様な要素が関係したりしており、かつて効果的だった1つの解決策では対応できないことが多く、先行きが見通せない「複雑な問題」が多い。それらを解決の方向に向かうためには、多面的・多角的な見方や考え方、友と協同して学ぶなどの力がより一層求められる。本題材が、その糸口になるものと考えている。


4 本時の指導

(1) ねらい

ESDの3つの視点（A環境 B多文化理解 C人権や命）から、環境面において自分たちが学校でできることとはどんなことなのか対話しながら考えることを通して、活動の見通しをもつことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	・指導上の留意点 支援(○) 評価(◎)	時間
導入	<p>1. 前時の学習を振り返る</p> <p>ESDの3つの視点を覚えていますか。</p> <p>ESDの環境について考えていきましょう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ESDは、SDGs 4. 7のターゲットに入っていたな。 ESDの3つの視点は、環境・多文化理解・人権や命だったな。 環境問題は、4年生でも勉強したな。 4年生のときにも白馬の自然を守る活動で名刺カードをつくったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎SDGs達成のキーとなるESDについて触れ、前時を振り返らせる。 ○担任の発問に対して、隣の友だちと話し合う。(ペアトーク) ○パワーポイントを使って、前時の振り返りを行う。 ○4年生の時の総合的な学習の時間を振り返らせ、環境面でできそうなことはないのか問う。 <p>◎前時を振り返り、ESDの3つの視点を思い出すことができたか。 (表情・発言・つぶやき)</p>	5
展開1	<p>2. ESDの、3つの視点の一つ「環境」について話し合う</p> <p>「環境」について、わたしたちができることは何か考えよう。ゴミ問題・水・地球温暖化（3つの課題）について考えてみよう。</p> <p>各グループごと、どんな問題が出てきたのか発表しましょう。</p>	<p>(ゴミ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室のゴミを捨てる時に、ゴミの分別をしていないけど良いのかな。 お母さんが、ゴミが勝手に捨てられていて困ったなあと saying いた。 <p>(地球温暖化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一昨年冬は、雪が全然降らなくて、スキーがほとんどできなかった。 ニュースや新聞でも、地球温暖化って言っていた。 最近、5月くらいでも夏のように暑い。 <p>(水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○環境問題は広い定義なので、子ども達が考えやすいように、ゴミ、地球温暖化、水について焦点を絞り提示する。 ○児童の思考を促せられるように、大型テレビや黒板に、写真を提示する。 ○自分の体験や経験と重ね合わせて、どんな問題があるのか考えるよう助言する。 ○6人グループとなり、話し合いを行う。 ○思考しやすいように、3つの課題ごと、話し合わせる。 ○SDGs目標カードを使って、どのような地球の課題について話し合っているのか意識させる。 	8 6

<p>展開 2</p>	<p>3. どのような解決方法があるのか考え、発表する</p>	<p>掃除のときに水を出しっぱなしにしてるのを見たことがある。 ・プールの水って、たくさん使っているけど良いのかな。</p>		<p>6</p>
	<p>各グループごと、3つの課題が解決するための考えをアイデアカードにまとめ、発表しましょう。</p>	<p>(ゴミ) ・ゴミについて、図書館の本で調べてみよう。 ・ゴミを分別して捨てたらどうだろう。 ・学校でゴミの片付けをしている土屋さんに話を聞いてみよう。 ・村の役場の人や、お家の人に聞いてみよう。 (地球温暖化) ・インターネットでしらべてみよう。 ・専門家に聞いてみよう。 ・クーラーや暖房、電器をつけっぱなしにしない。 (水) ・水を使うときに出しっぱなしにしない。 ・汚水を適当に流さない。</p>	<p>◎環境の3つの課題について、身の回りのことから考えることができたか。 (発表・発言)</p>	<p>10</p>
<p>まとめ</p>	<p>6. アイディアを共有化し、今後の活動の見通しをもつ</p>	<p>・これとこれは、みんなできそうだな。 ・これは、みんなでは難しい活動なのかもしれない。 ・今日話し合ったことを、これからの生活に役立てていこう。</p>	<p>◎6人グループで、どんな解決方法がありそうなのか話し合う。 ◎難しく考えず、普段の生活の中で、できそうな方法はどんなことか話し合うよう助言する。 ◎一人一人が付箋紙に考えを書き、グループの意見としてまとめ、アイデアカードにまとめるように指示する。</p> <p>◎3つの課題について、どのような解決方法があるのか話し合い、クラスみんなに提案することができたか。 (話し合い・アイデアカード・発表)</p> <p>(各班：付箋紙、画用紙、黒ペン1本)</p>	<p>10</p>
			<p>◎子どもと対話しながら、クラスみんなできそうなことは何か絞っていく。できそうなところを赤色チョークで囲む。 ・学習カードに今日の学びの振り返りや感想を書く。</p> <p>◎学習カードに、今日学んだことや思ったことをまとめ、今後の活動の見通しをもつことができたか。 (学習カード)</p>	



5 実証の観点

- ・ ESDの「3つの視点」(A環境 B多文化理解 C人権や命)から、「環境」にテーマを絞り、3つの課題(ゴミ問題・水・地球温暖化)を提示したことが、子ども達の話し合いを活発にさせ、今後の総合的な学習の見通しをもつことにつながったか。
- ・ 4人グループで話し合いを行ったことが、様々なアイデアや意見が出されることにつながり、今後の総合的な学習の見通しをもつことにつながったか。

6 参考資料

- ・「学校発・ESDの学び」／手島利夫／教育出版
- ・「理論と実践でわかる！SDGs／ESD持続可能な社会を目指すユネスコスクールの取組」／及川幸彦／明治図書
- ・「未来を変えるメッセージ みんなのSDGs」／水谷孝次& MERRY PROJECT／星雲社
- ・「知る・わかる・伝えるSDGs 1」／阿部治・野田恵／学文社
- ・「国連 世界の未来を変えるための17の目標 SDGs 2030年までのゴール」／日能研／みくに出版

SDG s の達成に向けて...



(持続可能な開発のための教育)

◇ E S D の 3 視点

A

--

B

--

C

--



◎ 授業のめあて

★ 授業の振り返り

先生より

--